第4号

白石東 まちづくり通信

2006.3.20 発行

地域限定の情報紙

　白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成 17 年 8 月より発行しています。

　本紙は、白石東まちづくりセンターを編集局に、そして地域の方々が記者になって地区内を取材し、年 4 回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！

もうすぐ新学期！

取材担当：五十嵐

「注意マップ」を作って、地域の子どもの安全を考えよう！

安全･安心ワークショップが開催されました

　小学生が犠牲となる殺人事件が続くなど、子どもたちの安全を地域でどう守っていくかが大きな課題となっていますが、２月２２日(水)地域の小学校３校(大谷地小、平和通小、東白石小)の先生方や PTA の方、町内会や各種団体の皆さん約５０名が参加して、この問題について考えるワークショップが開かれ、会場は皆さんの熱気で包まれました。

ワークショップの様子。2 時間半にわたり、熱い議論が交わされました。

犯罪の傾向を紹介する白石警察署の北課長さん。

危険な場所はどこ？

　ワークショップでは、白石警察署北生活安全課長に最近の犯罪の傾向を説明していただいた後、グループに分かれ、普段の生活で感じている危険な場所、犯罪や交通事故の可能性がある場所について白地図に色分けしてシールを貼って『白石東注意マップ』をつくり、意見も出し合いました。公園やサイクリングロードなど、夜間薄暗くて人の目につきにくい場所が問題であることや、子ども１１０番の家が十分に活用されていないことなどが指摘されました。

「ここが危険！」注意マップに情報を記入します。

皆の「目」が犯罪を防ぐ

　後半は、犯罪や事故を防ぐためのアイデアを皆で議論しましたが、予定の時間があっという間にすぎ、この問題に対する皆さんの関心の高さが感じられました。地域全体として子どもを見守っているということを、外に向かってアピールし続けていくことが必要だということで、皆さんの意見は一致したようです。

新年度に向かって継続的な取組みを！

　子どもの安全を守るための活動は、このワークショップ１回で終わるものではなく、今後とも引き続き学校と地域が連携して行っていく必要があるものです。新年度においても、実際に通学路ウオーキングを行うなど、いろいろな取組みが可能だと思われますので、皆さんのアイデアをお寄せください。

東白石交番のお巡りさんも急きょ参加。

「注意マップ」は、白石東まちづくりセンターで展示中。

趣味のコーナー

みんなのギャラリー

風景画を描き続けて３０年

大谷地第２町内会長、白石東町内会連合会会長をつとめる藤田すすむさんは、油絵を描き続けて３０年の大ベテラン。
特に新緑や紅葉など樹木を中心に据えた北海道らしい風景画がお得意で、白樺の木の描写には定評があります。

町連会長に就任以来、多忙で絵筆を握る時間がないのが悩みですが、これからも一生描き続けていくつもりと話しておられました。（左下の作品は代表作「静寂」です。）

ぜひ、実物をご覧ください！

藤田さんの絵は、白石東まちづくりセンター、白石東地区センター、菊水元町地区センター、厚別中学校など、多くの公共の場所に飾られています。

作者紹介
藤田　すすむさん

小さい頃から絵が得意で、独学で油絵を研究し始めたのは昭和 50 年のこと。それ以来自分の感性だけを信じて描き続けてきました。

全国美術公募展(東京都美術館)に 11 回入選した経験のある藤田さんが忘れられない記憶というのは、入賞経験を重ね公募展の常連になったころ、その展覧会のある幹部に言われた言葉「もっと絵を汚してみたらどうだ」。

「きれいなものをきれいに描く」をモットーにしている藤田さんにとってこの言葉は受け入れられません。それからも、「見ていて心が豊かになる絵、心が落ち着く絵」を目指しています。

平成 15 年にはローマ芸術家協会名誉会員として迎えられ、16 年には日本芸術家連盟理事に選出されています。

まちかど発見日記

取材担当：杉浦

JR 平和駅を取材しました

白石区平和通１６丁目北に、「JR 平和駅」があります。この駅構内の上の真新しい屋根付きの歩道橋に興味を抱き、同駅を訪ねたところ松本駅長さんが快く取材に応じて下さいました。

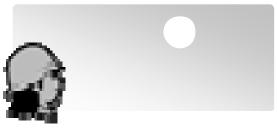
この駅は、昭和 61 年 11 月 1 日に木造の無人駅として誕生し、柏山踏切の閉鎖により歩道橋(屋根なし)ができました。その後、この地域も人口が増え、１日の乗降客は 3,800 人くらい、停車列車は、上下線合わせて 116 本(平成１６年度実績)もあるそうです。

駅舎は平成 10 年に建てられました。

長さ 350mの“空中歩道”

この駅に行って、まず驚くのは平成 14 年 10 月に建設された平和駅と平和通をつなぐ空中歩道「柏山跨線(こせん)人道橋」です。橋の長さは 294mで、階段を含めると 350m以上にもなり、雨天のときはジョギングコースに最適だと思いました。さらに、連絡口にエレベーターが設置され、自転車を押して昇れるゆるやかな階段、防犯カメラで 24 時間の集中管理と、安全で快適な歩道橋です。

早朝、散歩の折に見た日の出、黄昏時に見た満月。何もさえぎる物の無い約３００ｍのワイドな空にポッカリと浮いていて、とても感激しました。皆さんも一度、訪れてみてはいかがですか。



通路幅 3.5m、天井高 3mの跨線人道橋の内部。

☆記念スタンプについて

国内でもめずらしい駅名『平和』の記念スタンプができました。デザインは 2 羽のハトが「四葉のクローバー」をくわえて「幸せを運ぶ」というイメージを表現しています。

平和駅を利用のお客様一人ひとりの幸せを祈念して作成しました。

JR 平和駅　松本駅長より

特集：地域の歴史を語る レンガの建物

※鈴木煉瓦製造場の干場（明治 19 年）

レンガの里だった白石村

明治 15 年頃、白石村でレンガ造りに適した良質な粘土が発見されて以来、レンガ生産が本格的に始まりました。特に生産量が多かった「鈴木煉瓦（れんが）製造場(明治 17 年～大正 11 年)」のレンガは、北海道庁や札幌ビール工場、更には東京駅にも使用されていました。こうした歴史から、白石にはレンガの文化が根付いており、個人の住宅や倉庫にいたるまで広く使用されました。

しかし、近年では都市化に伴う開発が進み、古い様式の建物は次々に解体され、加えて建築基準法の改正により、新たなレンガ積みの建物を造ることは困難となりました。

全国的にも減少するレンガ積みの建物ですが、白石東地区には今も建設された往時の姿をそのまま残している「古き良きレンガの建物」がありました。

※写真：白石歴しるべ(白石区役所発行)

長浜宅 『納屋』　取材担当：杉浦

周囲がもと水田や畑だったので、米や雑穀、農機具などを収納するため、この納屋は建てられたそうです。

レンガ造りの立派な建物なので、近くの東白石小学校の児童が写生に来ることもあります。

場所　白石区本通 15 丁目南
建設　昭和 34 年

納屋の裏は庭になっています。

重厚な納屋の正面。軒のレンガ積みがきれいです。

渡辺果樹園 『リンゴ倉庫』　取材担当：横道

札幌東ドレスメーカー女学院の北側に、装飾が施されたお洒落（しゃれ）な倉庫を発見しました。この場所は元リンゴ園(渡辺果樹園)であったことから、収穫したリンゴを保管する倉庫として建てられたものです。

なお、この倉庫は保存効果を高めるために、壁を空間積み(二層構造)にしています。

場所　白石区本通 17 丁目北
建設　昭和 23 年

アーチ積みが美しい入口部。

細部まで装飾用のレンガが使われています。

札幌市 共同利用館 をご存知ですか？　取材担当：横道

札幌市共同利用館
場所　白石区本通 20 丁目南
建設　昭和 53 年

国道 12 号線の本通 20 丁目を南に曲がった所に「札幌市共同利用館」という建物があります。この建物は、札幌市がウタリ協会札幌支部に貸与しているもので、建物内には集会室や研修室などが設けられていました。

主な利用は、市内に住むアイヌの皆さんの交流、アイヌ語教室、ウタリ子弟学習会、アイヌの民族楽器トンコリの演奏「5 弦(材料オオハナウド)」、唄「ウポポ」、踊り「リムセ」など、多くの方々に使われています。

【写真 1】楽器「5 弦」－　材料オオハナウド
【写真 2】祭壇具「イナウ」－　新年を迎える儀式に使用

【写真 1】

【写真 2】

昨年、大谷地小学校で作った

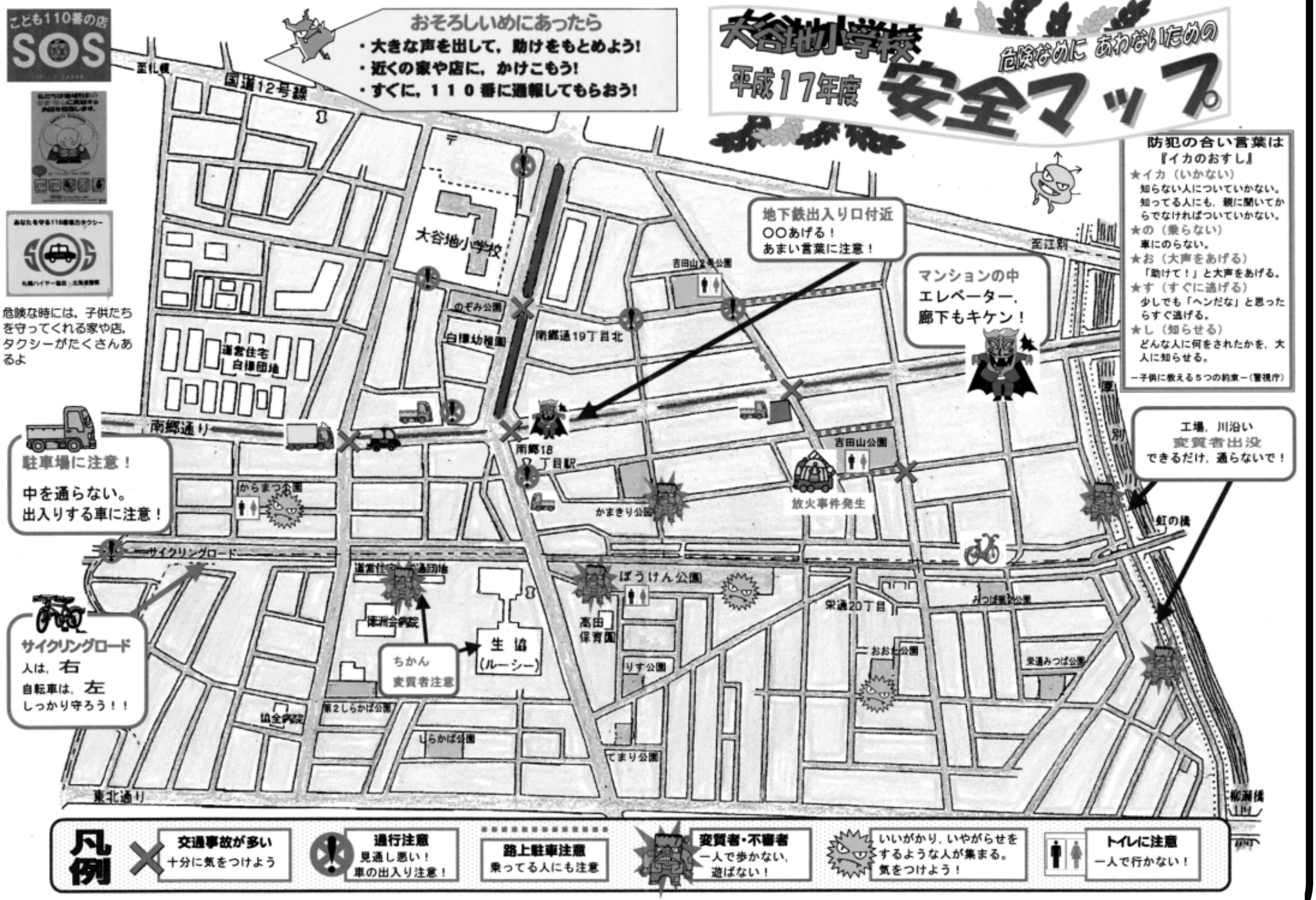
校区内の安全マップ

安全マップを説明する大谷地小学校の尾上先生

2 月 22 日に行われたワークショップ(表紙)のなかで、昨年、大谷地小学校が取組んだ「安全マップ」が紹介されました。

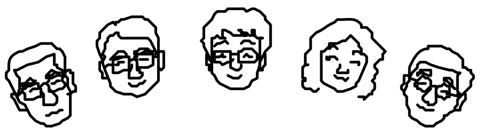
同小学校では、学校区内の児童の安全を守ろうと、多くの父母から情報を集めてこのマップを作成しました。

マップ作成に携わった尾上先生は、「学校だけの取り組みだけでは限りがあります。地域の皆さんとも連携していくことが、子どもたちの安全につながります。」と説明がありました。



情報をお寄せ下さい！！

「近所におもしろいものがある」、「ユニークな活動をしている人がいる」など、どんな話題でも結構です。皆さんからの地域の情報をお待ちしております。



取材スタッフ：武田祐次(町連)・横道実(社協)
杉浦凪子(民児協)・五十嵐載子(育成)・長井和幸(体振)

ＮＨＫ報道番組ほっからんど北海道**「金曜ひろば」のコーナーで、白石東まちづくり通信が紹介されました。**
(平成 18 年 3 月 10 日放送)

お問い合わせ　「白石東まちづくり通信」編集局

〒003-0026　札幌市白石区本通 18 丁目南 2-6　白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813　FAX011-862-8694　(休館：土･日･祝日)